

平成23年3月11日

岩出市教育委員会 殿

岩出市教育委員会評価委員会
委員長 藤井 均

平成22年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出
について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るということで、私たち評価委員は教育委員会の委嘱を受け、平成23年2月7日及び2月24日の2回にわたり評価委員会を開催しました。評価対象事業は、岩出市第一次長期総合計画の「21世紀を担う人づくり（教育と文化の振興）」に位置づけられ、教育委員会が作成した38事業の内容及び評価について事務局へ質疑応答を行い、その結果を踏まえ意見を取りまとめました。

自己評価は、ほとんどすべて達成しているとされており、総合評価として課題や今後の対応並びに市教育委員会の方向性等が示されています。

特に、耐震化対策事業では、平成13年度から安心・安全な学校づくりの最優先課題として実施した結果、平成20年度で全ての小学校が、また、平成21年度で全ての中学校で耐震化工事が完了し、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保をいち早く図ったこと。さらに生涯学習施設の耐震化対策事業では、曾屋教育集会所の耐震補強工事の完了により、全ての教育施設の管理が図られたこと。また、青少年の健全育成では、青少年育成市民会議を中心に、それぞれの地域で青少年健全育成に取り組んでおり、地域ボランティアも着実に増えてきていることや放課後子ども教室推進事業において、地域住民の方々の参画を得て、様々な活動や地域住民との交流が図られていることに対し高く評価します。

今後、事務事業の自己点検・自己評価の過程を通して、職員の意識改革や政策形成能力の向上を図るとともに、この評価等の結果を来年度以降の教育行政の一層の充実・推進に反映していただきたく、本意見書を提出します。

なお、個別の事務事業についての主な意見は、以下のとおりです。

教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
学校教育 の充実	適応指導教室 事業	適応指導教室にも来ることが出来ない、不登校児童・生徒の対応について、今後も学校との連携をさらに強化し取り組んでもらいたい。
	小・中学校施設 改修事業	小・中学校の補修及び通学路整備工事の実施により、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図られている。また、暑さ対策として扇風機設置事業を進めているが、今後全ての学校で取り組んでもらいたい。
	小・中学校職員 室パソコン 整備事業	小・中学校職員の校務用パソコンの増設により、教職員間での情報の共有化が構築され、校務の効率向上が図られており、今後も計画的に校務用パソコンの増設に努めてほしい。
	小・中学校新 教育課程対応 備品購入事業	教材備品の整備により新たに追加された内容についても、十分活用できており、新学習指導要領の完全実施に向け万全な対応をしてほしい。
	小学校学校図 書館システム 備品購入事業	小・中学校間、岩出図書館等との情報の共有を目指し、今後とも図書館等との連携強化に努めてほしい。
	小学校パソコン 教室整備事業	年次計画で全ての小学校のパソコン教室のパソコンが整備され、子どもたちの情報活用能力の向上が見られ評価できる。中学校のパソコン教室の更新についても取り組んでほしい。
	確かな学力育 成のための実 践研究事業	実践研究を行うことにより、教員の資質向上や児童の確かな学力の育成に成果が上がってきており、今後も更なる指導方法の改善を図り、その波及効果を全ての小・中学校に広げてもらいたい。
	特別支援教育 就学奨励費扶 助事業（小・ 中学校）	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きい。

学校教育の充実	要保護、準要保護児童・生徒扶助事業（小・中学校）	要保護、準要保護児童・生徒の保護者の経済的負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きいと、年々増加する傾向にある扶助費について全体的に検討してもよいのではと考える。
	中学校耐震化対策事業	平成20年度で全ての小学校が、また、平成21年度で全ての中学校で耐震化工事が完了し、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保をいち早く図ったことに対し評価したい。
	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業	防災訓練や防災ジュニアリーダー育成事業において、より実践的な活動を身に付けてもらい、修了した生徒たちには、災害時の地域防災活動において中心的な役割を果たして欲しい。
	私立幼稚園就園奨励費補助事業	保護者の経済的な負担の軽減を図る補助事業であるため、今後も継続して実施していく必要がある。
児童福祉・ひとり親家庭福祉の充実	放課後児童健全育成事業	学童保育は放課後等における児童の安全で健やかな活動場所の確保を図るとともに次代を担う児童の健全育成を支援する重要な事業であることから、今後も放課後子ども教室との連携など、より一層の充実に努めてほしい。
青少年の健全育成	青少年育成市民会議助成事業	それぞれの地域で青少年育成市民会議を中心に青少年の健全育成に取り組んでおり、また、地域ボランティアも着実に増えてきており、今後も引き続き取り組んで欲しい。
	青少年センター運営事業	市単独の青少年センターを設置し、各種団体や地域との連携を蜜にし、よりきめ細やかな青少年の啓発活動、非行防止活動に取り組んでいるが、市内巡回パトロール等更なる積極的な活動を行ってほしい。
	放課後子ども教室推進事業	地域住民の方々の参画を得て、様々な活動や地域住民との交流が図られており、成果が上がっている。今後も子どもたちが安全に放課後をすごせるよう、放課後児童健全育成事業との連携など、より一層の充実に努めてほしい。

生涯学習 の推進	曾屋教育集会所耐震対策事業	教育集会所の耐震補強工事の完了により、これで全ての教育施設の耐震化事業が完了し、安心・安全な施設管理が図れたことに対し評価したい。
	市民運動会事業	市民の健康増進やふれあいと交流を深める絶好の機会であり、今後も引き続き工夫して取り組んでほしい。
	岩出市マラソン大会事業	県外からも多くの参加があり、岩出市をPRする絶好の機会であり、また、参加者間の交流により互いにふれあうことができ、大変有意義な大会であることから、今後も引き続き工夫して取り組んでほしい。
	スポーツ教室事業	市民の健康維持増進に貢献しており、さらに内容を工夫し楽しく参加できるよう取り組んでほしい。
	大会等選手派遣補助事業	市スポーツ少年団及び市体育協会に属するものが全国大会、近畿大会・県大会等に出場する場合の派遣補助については、大会の内容、参加人員、スポンサーの付いている大会等調査、検討し見直す必要があるのではないかな。
文化・芸術の振興	公民館事業	公民館教室や講座は、大変人気のある事業であるが、さらに新しいアイデア等を工夫し、あらゆる世代に親しまれるよう取り組んでほしい。
	図書館利用促進事業	開館4年目を迎え、利用促進事業も定着してきているが、さらに事業の推進を図るため、図書館ボランティアの協力や地域密着型図書館サービスの充実が必要ではないかな。
	文化祭事業	文化活動の成果を発表する絶好の機会であり、より一層の充実に向けてほしい。
人権尊重の推進	保護者学級開設事業	学校の保護者を対象に人権学習や講演会等を実施することにより、人権問題に関する正しい知識と家庭や地域で果たす役割について理解を得ることができることから、今後も引き続き取り組んでほしい。